

## 平成21年度第2次新まちづくり計画施策進行調書(その1) (単位:千円)

政 策 目 標	4	安全・安心で、人と環境にやさしい街						
重 点 課 題	1	水とみどりの保全・育成と創出						
施策 の 基本 方針	みどり豊かな美しい風格ある街並みの実現や清らかな水環境の維持・回復を図るため、市民や企業との協働により、みどりの保全と創出を進めます。また、人間の活動による環境負荷の減少に努め、水辺の保全やせせらぎを回復する取り組みを推進します。							
計 画 事 業 の 実 施 状 況								
施策 番号	事 業 名	計 画 事 業 費	実 績 事 業 費					進 捗 率
			19 年 度 ( 決 算 )	20 年 度 ( 決 算 )	21 年 度 ( 予 算 )	22 年 度 ( 予 算 )	合 計	( % )
1	みどり資源の保全推進事業	1,384,500	376,500	333,561	332,000		1,042,061	75.3
2	木立ちを感じる街づくり事業	728,000	182,861	155,316	202,157		540,334	74.2
2	さっぽろふるさとの森づくり事業	39,000	12,575	11,194	9,297		33,066	84.8
2	北緯43°花香る北の街づくり事業	200,000	48,683	52,943	48,851		150,477	75.2
2	アマとホップのフラワーロード推進事業	4,000	3,490	1,817	1,234		6,541	163.5
2	創成川通親水緑地整備事業	2,100,000	0	322,000	696,000		1,018,000	48.5
2	白旗山緑化復元事業	43,000	26,973	987	987		28,947	67.3
2	丘珠空港周辺のまちづくり事業	4,681,000	1,805,194	1,112,362	986,000		3,903,556	83.4
2	“ひかりの”元気の杜推進事業【再掲】	1,477,000	14,000	399,000	149,000		562,000	38.1
3	水辺とのふれあい推進事業	1,200	265	38	466		769	64.1
3	合流式下水道の改善事業	1,982,000	278,409	171,700	447,447		897,556	45.3
3	協働による雨水浸透の推進		0	0	0		0	-
3	多自然川づくりの推進	582,000	183,508	165,431	156,000		504,939	86.8
4	みんなが集い学び楽しむ公園緑地づくり事業	16,500	2,021	2,634	3,164		7,819	47.4
4	学校・みどりのふれあい推進事業		0	1,900	2,000		3,900	-
4	国際園芸博覧会構想の検討	12,000	3,969	2,813	0		6,782	56.5

[illegible]

## 平成21年度第2次新まちづくり計画施策進行調書(その3)

政 策 目 標	4	安全・安心で、人と環境にやさしい街	
重 点 課 題	1	水とみどりの保全・育成と創出	
主  な  取  組  内  容			
施策1	みどりの保全・育成		
19 年 度（ 実 績 ）		20 年 度（ 実 績 ）	
特別緑地保全地区取得 約1.3ha 都市環境林取得 約3.6ha		特別緑地保全地区取得 約1.1ha 都市環境林取得 約4.4ha	
21 年 度（ 予 定 ）		22 年 度（ 予 定 ）	
特別緑地保全地区取得 約0.8ha 都市環境林取得 約3.5ha			
施策2	みどりの創出		
19 年 度（ 実 績 ）		20 年 度（ 実 績 ）	
道路緑化推進事業(街路樹補植1,700本、危険木対策65本など) 一家庭一植樹運動推進事業による苗木配布 約10千本、リラの花香る街づくり事業による植樹本数 約4千本 さっぽろふるさとの森づくり植樹祭 毎日新聞社と共催により苗木10千本植樹 コミュニティガーデン設置数 1カ所 アマ＆ホップフェスティバルの支援、フラワーロードの延長3,100m 白旗山スキーコース森林復元工事、白旗山フェスティバル 丘珠空港緑地 パークゴルフ場18ホールの先行供用開始		道路緑化推進事業(街路樹補植1,239本、危険木対策183本など) 一家庭一植樹運動推進事業による苗木配布 約10千本 さっぽろふるさとの森づくり植樹祭 苗木4千本植樹 コミュニティガーデン設置数 10カ所 アマ＆ホップフェスティバルの支援、フラワーロードの延長3,200m 創成川通緑地空間等実施設計 白旗山スキーコース森林復元モニタリング調査 丘珠空港緑地 用地取得、施設整備 東雁来公園 サッカー場2面の整備	
21 年 度（ 予 定 ）		22 年 度（ 予 定 ）	
道路緑化推進事業(街路樹補植1,400本、危険木対策80本など) 一家庭一植樹運動推進事業による苗木配布 約11千本 さっぽろふるさとの森づくり植樹祭 4千本植樹 コミュニティガーデン設置数 10カ所 アマ＆ホップフェスティバルの支援、フラワーロードの延長3,300m 創成川護岸、創成橋復元工事、公園造成(北大通～北2条) 白旗山スキーコース森林復元モニタリング調査 丘珠空港緑地 用地取得、施設整備 東雁来公園 外周の植栽工事など			

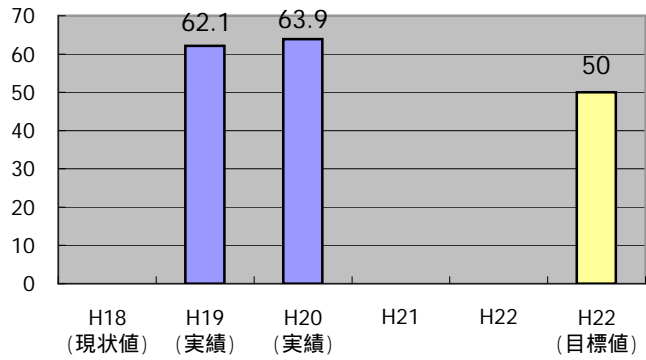
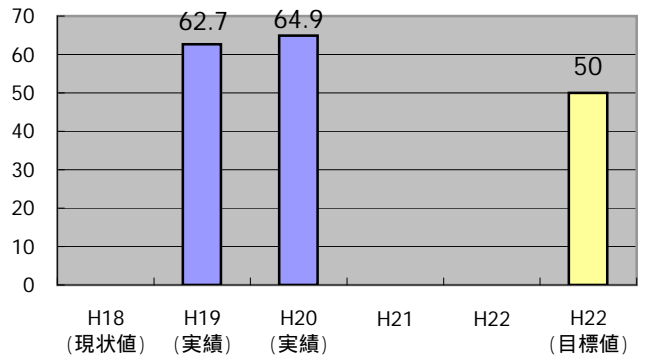
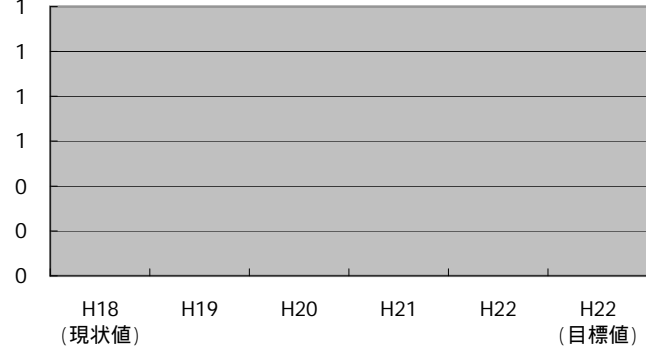
## 平成21年度第2次新まちづくり計画施策進行調書(その4)

政 策 目 標	4	安全・安心で、人と環境にやさしい街					
重 点 課 題	1	水とみどりの保全・育成と創出					
主　　な　　取　　組　　内　　容							
施策3	水辺の保全・創出						
19 年 度（ 実 績 ）			20 年 度（ 実 績 ）				
協働による水生生物観察会や市民活動事例発表会の実施 水生生物調査ハンドブックの増刷・配布 豊平川雨水貯留管の基本設計 合流式雨水吐口へのスクリーン施設の設置　7カ所 雨天時の放流水質の改善に関する調査 雨水流出抑制の他都市事例調査 雨水流出抑制に関する情報提供と意向把握(下水道パネル展、下水道モニター制度) 有識者による札幌市河川環境基本計画の検討会開催(4回) 多自然川づくりによる散策路整備や意見交換会等の実施			協働による水生生物観察会の実施 水環境保全活動の実態把握 豊平川雨水貯留管の実施設計 合流式雨水吐口へのスクリーン施設の設置　4カ所 雨天時の放流水質の改善に関する調査 新たな開発における雨水流出抑制量の設定 雨水流出抑制技術基準(案)策定 札幌市河川環境指針(名称変更)の策定 多自然川づくりによる散策路整備等の実施				
21 年 度（ 予 定 ）			22 年 度（ 予 定 ）				
協働による水生生物観察会や市民活動事例発表会の実施 水環境保全活動の実態把握 豊平川雨水貯留管の工事 合流式雨水吐口へのスクリーン施設の設置　4カ所 雨天時の放流水質の改善に関する調査 雨水流出抑制実施要綱(案)策定 多自然川づくりによる散策路整備等の実施							
施策4	水とみどりを楽しむ心の醸成						
19 年 度（ 実 績 ）			20 年 度（ 実 績 ）				
市民・企業等の協働による公園緑地の利活用(イベント実施等) 森林・公園ボランティア活動の拡充・促進 公園緑地落葉等のリサイクルのため、堆肥ヤード設置(2カ所) 国際園芸博覧会(花博)開催の検討について、基礎調査を実施			市民・企業等の協働による公園緑地の利活用(イベント実施等) 森林・公園ボランティア活動の拡充・促進 公園樹木落葉等のリサイクル活動の拡充・促進(堆肥ヤード設置　5カ所) 学校に児童生徒、保護者及び地域住民の協働により植樹の実施(15校、1,240本) 花博構想について、追加調査を実施するとともに、市民アンケート調査を実施して市民の意向を把握した。				
21 年 度（ 予 定 ）			22 年 度（ 予 定 ）				
市民・企業等の協働による公園緑地の利活用(イベント実施等) 森林・公園ボランティア活動の拡充・促進 公園樹木落葉等のリサイクル活動の拡充・促進(堆肥ヤード設置支援) 学校に児童生徒、保護者及び地域住民の協働により植樹の実施(13校、400本) 国際園芸博覧会(花博)開催の検討について、市民アンケートの結果を踏まえ、方針を決定							
主　　な　　施　　設　、　サ　ー　ビ　ス　の　整　備　水　準							
施　設　（　サ　ー　ビ　ス　）　名		18年度末 （ 現 状 ）	19年度末 （ 実 績 ）	20年度末 （ 実 績 ）	21年度末 （ 予 定 ）	22年度末 （ 予 定 ）	22年度末 （ 目 標 ）

## 平成21年度第2次新まちづくり計画施策進行調書(その5)

政策目標	4	安全・安心で、人と環境にやさしい街
重点課題	1	水とみどりの保全・育成と創出
評価(成果)		課題
施策1 みどりの保全・育成		
<p>特別緑地保全地区や都市環境林の取得により、重要な樹林地を公有化することで、街から見える山並みや市街地に点在する緑地の保全に努め、将来にわたり良好な都市環境の形成、景観風致の維持が図られた。</p>		<p>豊かな自然環境を維持するための財源確保が困難になってきている。</p> <p>森林環境保全を積極的に推進するため、行政が主体となっ て行ってきたみどりの保全・育成に係る制度や事業手法にと どまらず、NPO、市民ボランティア、企業などの多様な主体の 活動にも重点を置き、その活動の支援や協働による森林保全 などについて検討を行い、多様な主体によるみどりの保全・育 成を図る必要がある。</p>
施策2 みどりの創出		
<p>公園緑地の整備をはじめとして、市街地の街路樹の整備 や、公共施設の緑化を進めたことにより、潤いのあるみどり豊 かな街づくりへの取組が推進された。また、歩道美化事業や アマとホップのフラワーロードを始めとする市民と協働による花 を活用した街の美化活動によって、景観の向上に寄与したた けでなく、コミュニティの醸成や、地域の個性をいかした活気 ある街づくりを進め、「身近なみどりの満足度」につながった。 このほか、市民や企業との協働による森づくりを行うことで、 みどりの創出に加え、市民の緑化・環境意識の高揚を図っ た。</p>		<p>地域での緑化活動や森づくり、公園緑地整備などの取組に より多くの市民や企業が参加できるよう取組内容の検討や活 動団体の連携を深めるなどの支援を進める必要がある。一方 で、市民が植樹活動を行える場所の確保が必要となってい る。</p> <p>また、街路樹の老木化が進んでいることから、危険木対策に 重点を置いた街路樹管理により、市街地のみどりの創出を図 る必要がある。</p>
施策3 水辺の保全・創出		
<p>水辺とのふれあいの取組として、水生生物観察会等の実施 により、市民の水環境への関心の高まりや、市民交流の促進 がみられた。</p> <p>また、多自然川づくりを推進するため、有識者による検討会 を通して河川環境の整備の指針となる「札幌市河川環境指 針」を策定した。</p> <p>このほか、水とみどりのうおいのある街づくりを目指し、雨 水流出抑制技術基準(案)を策定し、雨水の貯留・浸透に関 する手法や設計方法について検討することができた。</p>		<p>水環境保全に関する市民活動団体相互の連携や情報の共 有化を一層推進するため、ネットワークの構築が必要である。 また、多自然川づくりによる河川の整備については、市民意 見を取り入れることによって、河川環境への市民の関心を高 めることが必要である。</p> <p>このほか、合流式下水道の改善については、雨水貯留管に よる整備は大きな効果が得られる一方で、多額の費用を要す ことから、より効率的な技術開発が必要である。</p>
施策4 水とみどりを楽しむ心の醸成		
<p>市民との連携によるイベントを実施することで、市民が主体と なった公園緑地の利活用が促進されたほか、森林ボランティ ア制度の見直しによって、より多くの市民参加が可能となっ た。</p> <p>また、学校において、地域や保護者と連携して植樹活動を 行い、自然教育・環境教育が推進された。</p> <p>このほか、国際園芸博覧会(花博)開催に係る市民アンケ ートを実施し、市民意見を把握した。</p>		<p>市民・企業と連携・協働による公園緑地の利活用を促進す るには、市民・企業のニーズの把握や支援方法の充実などを 図る必要がある。学校での植樹活動については、学校と地域 の連携の仕組みづくりが必要である。</p> <p>国際園芸博覧会(花博)の開催については、経済効果や実 施したアンケートを踏まえながら、開催の是非について慎重 に決定する必要がある。</p>
今後の重点取組		
<p>今後も市民・企業との連携・協働による公園緑地の整備、地域緑化の推進や森づくりのほか、公園緑地の利活用の促進に取り組みしていくものであるが、より多くの参加を得ながら進めていくために、取組内容や市民・企業への支援等の充実を図っていく。</p>		

平成21年度第2次新まちづくり計画施策進行調書(その6)

政策目標	4	安全・安心で、人と環境にやさしい街
重点課題	1	水とみどりの保全・育成と創出
成果指標等の動向		
項目1 身近なみどりの満足度(単位: %)		項目2 地域の緑化活動への参加意識(単位: %)
		
項目3 河川の水環境目標値(環境基準)の達成率(単位: %)		項目4 みどりに関わるボランティア登録団体数(単位: 団体)
		
項目5		項目6
		
成果指標等から見た重点課題の評価		
<p>・「身近なみどりの満足度」「地域の緑化活動への参加意識」は目標数値を上回っており、みどりの保全・育成、創出による一定の成果は見られた。今後も、協働によるみどりの保全・育成、創出を行うとともに、みどりを楽しむ心の醸成を推し進めることで、今以上の市民のみどりに対する満足度を高めたい。</p> <p>・「河川の水環境目標値(環境基準)の達成率」は目標の数値を達成しており、多様な生態系に配慮しながら、良好な水環境の維持・回復を図るとともに、みどり豊かで清らかな水辺の創出による効果と考える。</p> <p>・「みどりに関わるボランティア登録団体数」は着実に団体数を増加し、市民や企業などとの協働による公園緑地の利活用やみどりに対する保全・創出活動の取組が堅実に広がりつつある。今後もボランティア登録団体の増加に取り組み、H22の目標値達成を目指していく。</p>		